

酒々井町

郷土研究会会報

第103号

平成14年1月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

年頭に寄せて

郷土研究会会長 青木朝次

明けましておめでとうございませす。皆様方も御健勝にて清々しい新年をお迎えになったことと存じます。郷土研究会も昨年は会報発行百号記念として縮小版を作り四分冊で発行の段取りとなり、ここに申し込まれた方々に第二集をお届け申し上げることができました。また生涯学習フェスティバルでは寺宝展と名づけ県・町指定の文化財を多くの方に見て戴き盛會裡に終了することが出来ました。これもひとえに各役員の並々ならぬ御努力によること大と深く感謝申し上げます。

今年も皆様によるこんで頂く郷土研行事を企画致しますので大勢の方々に参加して頂きたいと祈念しております。

何事にも和が大切です。どうぞより良い郷土研究会にするために一層のご協力をお願い申し上げます。そして「よかつたなあ」と思わず口にするような会にしようではありませんか。

迎春

壬午元旦



四十年前に

酒々井中に勤務して

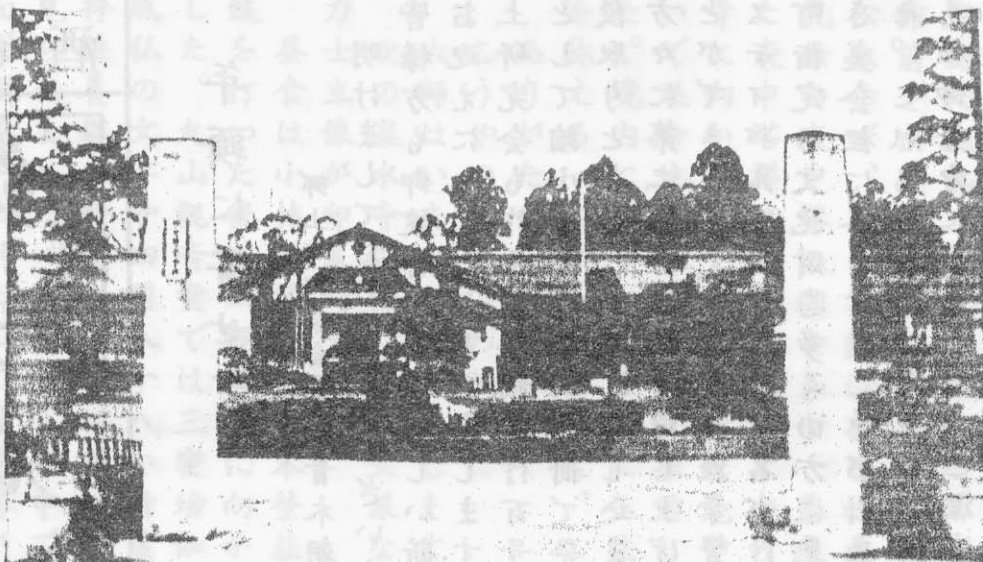
酒々井町教育長 伊藤祐司

私が学校を卒業して初めて教職についたのは、ちょうど四十年前の昭和三十六年です。確か初めてもらった給料は一二八〇〇円だったと記憶しています。

当時酒々井中学校は現在の酒々井小の運動場の所にあり、勿論木造校舎で、特に東側の校舎は旧陸軍の兵舎のような建てつけて日当たりも悪くひどいものでした。グラウンドも狭く私は野球部の顧問となりましたが、他校を練習試合に呼べず遠征ばかりだったと記憶しています。普段の練習でも外野が浅くお陰様で加減してノックする技術は超一流となりました。しかし、一步校舎の裏に行きますと干拓以前の印藩沼の景観がすばらしく、現在の酒々井中の校歌にある「筑波の峰の雲はれて、印藩の沼に陽はのぼり」そのものでした。

当時生徒は戦後のベビーブームで四五〇名近くおり、人口六千人の町としては子供たちの数も多かったと思います。生徒達は素直で明るく、びくびくとしていたように思います。私が若かったせいかわ女生徒は中学生というより高校生のように見えたものです。部活動も盛んで勉強も今の中学生より熱心であったように思います。現在のような塾はほとんどなく三年生の二学期後半になると補習授業を実施して高校進学に備えました。

生徒の通学は下岩橋の一部が京成を使っていた他はほとんどが徒歩通学でした。南の馬橋・墨・尾上・飯積、北の伊篠・伊篠新田の生徒達は



一時間以上もかけて通学していました。私も八街から通っていました。南酒々井まで列車で来て駅前から

自転車ですり道道を三十分位かけて通勤してました。経胤寺のところに上る新堤の坂で汗をかいたことをよく覚えています。時々成田への出張があり、今のようなバイクがなくなり伊篠の松並木の砂利道をほこりをかぶってバイクで行ったこともありました。今伊篠の松並木が枯死してしまつたのは残念です。

池のハス大賀



当時の学校生活の中で現在とちがう点はたくさんありますが、特に印象に残っているのは昼食です。小学校では比較的早く給食が実施されていまし

たが中学校ではお弁当持参でした。昭和三十六、七年と言えば少しづつ日本人の食生活も豊かになりはじめていきましたが弁当のおかずはまだまだ色どりのよいものではなく、多くの子供達は新聞に包んできた弁当を隠すようにして食べていました。そんな食べ方をよく注意しましたが何

でも恥ずかしがる中学生の年代にすれば仕方のないことであつたかも知れません。

理科室



昭和四十六年、私は十年お世話になつた酒々井中から四街道中へ転勤しました。その後時々酒々井を訪れてみると町の変貌は目をみはるばかりでした。

昭和四十五年から始まつた中央台・東酒々井の開発、昭和四十七年の役場庁舎の移転、昭和五十四年の酒々井中学校の尾上地区への移転など数えあげればきりがあります。平成九年から再び酒々井小学校に勤務でき、退職してからも酒々井町教育委員会にて町の行政に携わることができ感謝しています。

郷土研究会から原稿依頼を受けましたが、とりとめのない昔話しか書けず申し訳なく思っています。最後に郷土研究会の益々のご発展をお祈り致します。

木下街道を歩いて (2)

(八幡辺り)

西村美夫

九月十四日、この会に初めて参加させて頂きました。酒々井駅八時十分集合、のっけから駅の下で待っていて危うく不参加になるところで冷や汗をかいてしまいました。

八幡駅から葛飾八幡宮を皮切りに藤原観音堂まで五か所、葛飾八幡宮は以前にもお参りしたことはありましたが、こんなところがあつたのかと思うほど見事な千本公孫樹、そして中山法華経寺の建物の立派さには目を見張るものがありました。近くでは成田山や宗吾霊堂は知る人ぞ知る所ですがそれよりもつと立派に見えるのは私だけでしょうか。北方十字路を経て法典駅近くの七面堂へ。ここはこの辺を開拓した人達の霊を祀つてあるとのこと。そして唱行寺、ここは太鼓の霊場で鬱蒼とした樹木に囲まれいかにも古いお寺で、数日前に襲つた台風の影響で銀杏が無数に散乱しておりちよつと勿体ないかなと思いつつ唱行寺を後にしました。次は藤原観音堂へ。像高九十センチの木造観世音菩

薩が奉つてあるとのこと。

午後からは少々むしてきて、車の往来の激しい道もありましたが、役員の皆様の説明にただただ感嘆、奥の深い内容のほんの一部を勉強させていただきました。心地好い疲れと共に馬込沢駅へ。有意義な一日を過ごさせていただいたことに感謝。

木下街道を歩いて (3)

(鎌ヶ谷辺り)

鬼丸新吾

十月三日秋晴れのとてもよい天気、八時十分京成酒々井駅集合、二二名で目的地鎌ヶ谷大仏に向かつて電車に乗り込んだ。「木下街道を歩く」の三回目である。東武線馬込沢駅下車で一番目の「安立庵」に到着、ここで目にした「無縁塔」は荒れ放題という感じで胸が痛む。途中道標地蔵、延命寺、丸屋、清田家の墓地、駒形大明神、と全員元気で午前中予定通りであった。歩きながら昔の街道を想像した。小網町を午前六時に出発して、行徳からなだらかな上がり、下りを八里(三十二キロメートル)歩いて日のあるうちに木下に着

いたという。人車鉄道を普通の人も利用したのであろうか、と思つた。今の私には、とうてい出来ないことだと思ふ。当時の旅人達の元気な姿が目には浮かんだ。

午後から大仏様とのご対面であるが名前は知つていても初めてだった。私の中の大仏のイメージが大きいものと思ひ込んでいたので苦笑してしまつた。「百聞は一見に…」である。二二五年前に建立、青銅坐像で一・八メートルである。次は「百庚申」、これまた今まで見たことのない「庚申塔」の数。一六〇年前の建立で数量信仰の影響を受けて生まれたとのこと、今回もとてもよい勉強をさせて戴いた。会長、副会長の解りやすい説明にうなづくだけのわたしでしたが自分の勉強不足を反省した。でも皆さんとの楽しい一日でした。

印西方面会計報告

収入	2000×37=74000
支出	昼食・休憩代51800
	コピーその他 9720
返金	
	300×37=11100
	72620
残(会計へ)	1380

印西方面の

寺院を訪ねて

野口正夫

去る十一月十六日午前八時五十分、定刻に総勢三十七名が町バスで公民館前を出発。最初に寄ったところは松虫寺で、その界限にある松虫姫の乳母の庚申塔の祠や五十一基位あった庚申塔群の辺りを散策し次の龍腹寺に向かいました。本寺は見学しないで延命地藏尊の方だけ探訪しました。境内にあった大日塚に弘法大師を称える一句がありました。

ありがたいや

こうやの山のいわかげに

大師はいまだおわします

次の瀧水寺では二軀の立派な金剛力士立像が印象的でした。

昼食は小林牧場入口の本塾荘で舌鼓を打った後丸山観音堂に向かいました。丸山観音堂では三密瑜伽即身成仏の文字や四国八十八か所霊場巡拝供養塔、野鹿の碑等があちこちに見られました。武西の百庚申では青面金剛尊や出羽三山の供養塔が目につきました。

このような見学会には初めて参加しましたが、先ず感じたことは出発

して間もなく車中で青木会長からこれから探訪する寺院について沿革などについて事前説明がなされ、当該寺院の概況の予備知識をもって見学できるの興味と認識が倍加したのではないのでしょうか。

武西の百庚申探訪の帰りに東京電機大学の裏門前を通った時、銀杏葉の街路樹の黄葉が風に吹かれてひらひらと舞う様はものあわれと言いか人生の無常を感ずるような感傷にもふけりました。

会員の皆様の道跡探訪に対する並々な熱心で旺盛な探求心に感動しました。

お知らせ

「写真で見る郷土研」として酒々

井町郷土研究会の日頃の活動などを見て頂く機会を作りました。なつかしい顔・場所があるかもしれせん。

皆様お誘いあわせてお出てください。

日時 二月六日(水) 二月十日(日)

場所 中央公民館ロビー



郷土研究会日誌

月日	内容	人数	月日	内容	人数
9/26	編集会議	9	11/14	研修部会	14
9/27	会報発送	22	11/16	印西方面日帰り	37
10/3	木下街道	22	11/17	編集会議	8
10/5	野草観察	15	11/26	西新井方面下見	2
10/6	日帰り受付	3	11/29	運営委員会	24
10/23	古文書学習会	8	12/1	編集会議	8
10/24	運営委員会	25	12/1	史談会	10
10/28	文化展	288	12/5	西新井方面	23
11/9	印西方面下見	7	12/15	百号記念誌製作作業	22
11/12	木下街道下見	4	12/18	編集会議	8

文化展報告

井町十月二十八日から三十日まで酒々井町生涯学習フェスティバルが開催され、郷土研究会も参加「寺宝展」ということで泉・町の指定文化財を展示しました。浄泉寺の雲版、吉祥寺の鬼子母神の掛軸、寺社にある仏像の写真七枚などが解説付きで展示され、また西蔵院の初公開の掛軸、松雲寺の薬師如来や十二神将像なども飾られました。

酒々井町の寺宝が実際に目の前で見られるというところで町長はじめ多数の方が見えました。町長はじめ多数の方が見え、協力をいただきました。寺院の方々がありがとうございました。

見学

案内

名勝探訪

北鎌倉方面

一月二十日(日)

雨天代替一月二十七日(日)

今年も例年通りホリディパスを使
って、鎌倉の方へ初詣てに行きます。

北鎌倉駅で下車し、北条時宗が建
立・無学祖元を開山とし境内全域が
国の名跡名勝庭園に指定され禅寺ら
しい莊嚴なムードが漂う円覚寺、縁
切寺・駆け込み寺として名高く北条
時宗の後室覚山尼が創始した東慶寺、
北条時頼が七〇〇年前に開山し、鎌
倉五山第一位の風格を今に伝えてい
る建長寺、あの世の入口で亡者に生
存中の行為を裁く閻魔十王像の祀つ
てある円応寺をまわります。鶴岡八
幡宮で自由解散となります。

日帰り見学会

佐倉方面

三月二十二日(金)

まだく寒いかもしれませんが、
ゆっくりした行程です。見学された



方もおありかもしれませんが改めて
新しい発見をしてみましよう。

① 師戸城址
太田道灌の弟太田図書が討ち死
にした白井城の支城とされる戦
国時代の城跡。
岩名仁王尊

② 玉泉寺の仁王門に祀られたア
ウン像。
草ぶえの丘

③ 草ぶえの丘の名は市民が付けた
もの。その名のとおり恵まれた
緑と土と光の中から草ぶえが聞
こえてくるようです。
④ 旧堀田邸(さくら邸)

明治時代に佐倉に移り住んだ旧
佐倉藩主堀田正倫の邸宅と明治
様式の庭園。手入れの行き届い
た庭からの展望はすばらしい。
⑤ 武家屋敷

江戸時代後期の佐倉藩中級武士
の住まいを復元。質素な造りの
中に当時の武家生活が偲ばれる。

木下街道を歩く(4)

白井方面

三月八日(金)

雨天代替三月十一日(月)

今回は小金牧を横切るように歩き
ます。まず秋本寺で白井七福神のう
ち毘沙門天をお参りします。ここか
らかつて賑わっていた白井宿。鳥見
神社の鳥居は市内で最古の文化財。
神崎川のほとりにでると橋のたもと
に江戸の豪商が慈善事業で架けたの
を記念して伊勢宇橋の碑が建ってい
ます。十余一まで来ると念仏の遊行
僧・徳本上人の信仰に基づいて建立
された供養塔があり、街道はここか
ら千葉ニュータウンへ消えていきま
す。

あとがき

昨年は同時多発テロに始まるアフ
ガニスタンの戦争など暗いニュース
が多い一年でしたが、師走に入って
内親王誕生という嬉しいニュースが
飛び込んで来ました。本当におめで
とうございました。

当町ではJR快速がすべて酒々井駅
停車となりましたが、これにより酒
々井町を訪れる人が増え、多くの
人に本佐倉城跡はじめていろいろな史跡
を見てもらいたいですね。今年も楽
しい行事を数多く企画して皆様の御
参加をお待ちします。

郷土研行事案内 平成14年1月～3月

史談会	1月 休講	2月 2日(土) 13:30 公民館 「道が語る酒々井の歴史」⑤ 講師：高橋健一先生	3月 2日(土) 13:30 公民館 「道が語る酒々井の歴史」⑥ 講師：高橋健一先生
古文書を読む会	1月 休講	2月 19日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」	3月 休講
名勝探訪	1月20日(日) 『北鎌倉方面』 JR酒々井駅集合 7:00 雨天代替 1月27日(日) 費用 ホリデーパス 2040円 場合によりコース変更あり 行程 JR酒々井駅→北鎌倉駅→円覚寺→東慶寺→建長寺→円応寺→鶴岡八幡宮(解散・自由昼食)		
野草の会	2月15日(金) 『七草粥を食べる会』 会場 中央公民館 受付 11:00 お手伝いできる方は9:00までに調理室においで下さい。 会費 700円 会食 11:30 定員 70名 申込受付 2月3日(日) 12:30 (公民館ロビーにて)		
木下街道を歩く(4)	3月8日(金) 『白井方面』 京成酒々井駅集合 8:50 雨天代替 3月11日(月) (場合によりコース変更あり) 行程 京成酒々井駅→京成津田沼駅→新京成新鎌ヶ谷駅→北総白井駅→白井公園(自由昼食)→秋本寺→鳥見神社→伊勢宇橋の碑→徳本上人供養塔→十余→JR木下駅→JR成田駅→酒々井駅(徒歩約6km)		
日帰り見学会	3月22日(金) 『佐倉方面』 定員: 33名 会費: 1500円 公民館前集合 9:15 申込受付 2月3日(日) 12:30 (公民館ロビー) キャンセル 実施日3日前まで青木朝次宅へ() 行程 公民館→師戸城址→岩名仁王尊→草ぶえの丘(昼食)→堀田邸・武家屋敷→公民館 (場合によりコース変更あり)		
第26回総会	2月3日(日) 中央公民館 開会 13:30 受付 13:00から(公民館ロビー) 年会費 1000円 議題 <ul style="list-style-type: none"> 平成十三年度事業報告及び決算の承認について 平成十四年度事業計画案及び予算案について その他 (同時に七草粥と日帰り見学会の申込受付します。) 総会終了後企画課長戸村氏より「これからの町づくり」のお話しを伺います。		